

八幡山小学校 PTA 会長 小野寺 里美
家庭教育学級委員長 宮東 瑞恵
同副委員長 戸畑 愛

第二回家庭教育学級のご報告

日ごろ PTA 活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

先日、第二回家庭教育学級を開催いたしました。教育ジャーナリストの中曽根陽子先生にご来校いただき、「新時代に必要『失敗力』の育て方」についてお話しいただきましたので、ご報告します。

テーマ	「新時代に必要『失敗力』の育て方」 ～A I 時代を幸せに生き抜くための失敗してもくじけない力を育てる～		
日時	令和元年 11 月 7 日(木) 10:00～	場所	八幡山小学校ランチルーム
講師	教育ジャーナリスト 中曽根陽子先生	出席者数	47 名

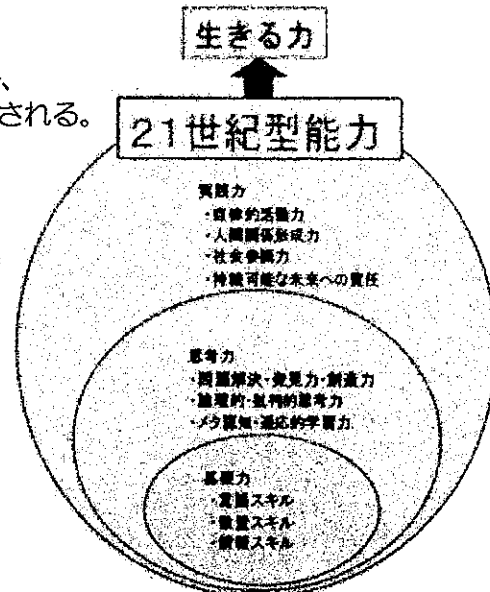
【学級内容】

①子どもたちが生きる未来

- ・映像「仕事の未来」を鑑賞。
- ・世界の変化のスピードは速く、親世代が想像できない仕事に、子どもは就くでしょう。
- ・親の経験が子世代にはあてはまらず、子供のためにと敷いたレールが役立たないかも・・・
- ・AI の発展で、人は人にしかできない仕事を求められる。

②教育も変わる

- ・2020年度から大学入試が変わる。
- ・センター試験は中止。思考力・判断力・表現力を問う新型入試へ。各大学で個別選抜の改革。
- ・大学入試が変われば、小中高の教育も変わる。
- ・社会で求められる人材は変化している
- ・これからの社会は、正解がない中で、自ら考え行動し、新たな価値を創造し、チームで協働できる人が必要とされる。しかし、従来型の若者が多い。
- ・キーワードは「探究」。
- ・主体的・対話的で深い学び
＝アクティブラーニング（自ら学び主体的に考え行動すること）が進む。
- ・狙いは 21 世紀型能力の育成。⇒生きる力
- ・基礎学力を基に、思考力を駆使し課題と解決策を見出し、実現する。
この一連の力が必要
- ・中学受験で新型入試が導入されている。
(ペーパーテストだけでない試験)



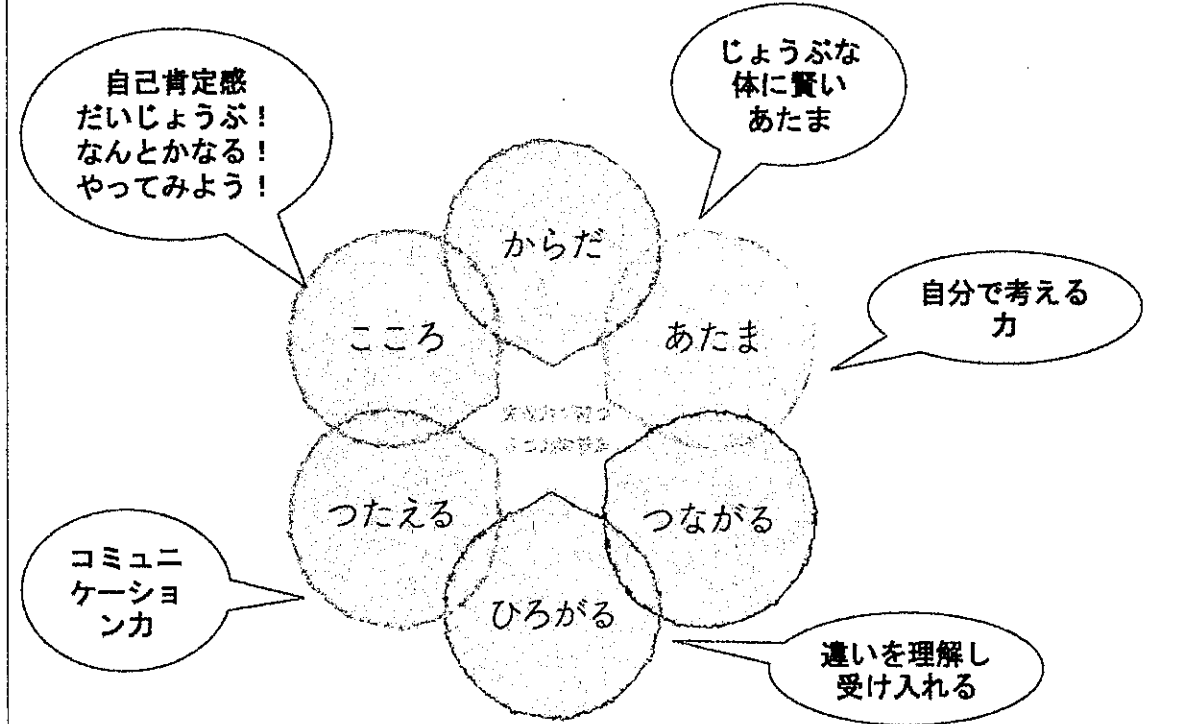
講師スライドより (国立教育政策研究所作成 2014)

③その時に必要とされる力とは？

- ・急速に変化する未来で、時代が求めているのは「出る杭」。
- ・しかし、日本の子供は自己肯定感が低い。失敗するのが怖い。
- ・経験したことのない困難に出会っても、くじけず前に進む力＝「失敗力」が必要。

④家庭で育つ力

- ・子供にどんな大人になって欲しいと思っていますか？
- ・人間は動物。成長の順番は決まっている。
- ・体・頭・心を育てるためには、睡眠時間の確保と一定の生活リズムが必要。
(「早寝・早起き・朝ごはん」が重要で、社会性などは 10 歳～)



講師スライドより

⑤ワーク「お子さんのできるようになったことは？」

- ・自己肯定感を育てる。
- ・わが子の成長を感じたことを3つあげてみる。
→是非、お子さんに伝えて。恥ずかしければ、当日記入した紙を家のテーブルに置いて。

⑥ワーク「できなかったことについて、どう質問する？」

- ・次に、やってみよう! という気持ちを育てる。
- ・能力が努力で伸びると思えるかは、小さい頃からの親の声かけで決まる。
- ・子供が期待することをできなかった時、どんな声かけをする?
- ・「どうして・・・なの?」と「OOだったんだね (共感)、どうしたら・・・と思う? (未来について)」それぞれの言葉を参加者ペアで言い合せて体験。後者が良い。
- ・「どうして (WHY?)」から、「どうしたら (HOW)」の声かけへ。
- ・できた時には「頭がいいね」でなく「がんばったね」と努力をほめると良い。

子供を育てること＝未来を創る人材の育成、である。親自身が学びましょう。応援します。

【質疑応答】

Q1. 3年生の子がゲームに夢中。疲れていそうだが、制限すると怒る。どうしたらいい？

A1. 親が共感できるといいが、基本的な生活習慣の確保は大切なので、その点はしっかり説明。ルール作りは、子供と一緒にすると守りやすい。

Q2. 6年生の子が、前向きな声かけや認める言葉を心がけても、素直に受け止めてくれない。

A2. 思春期は特別な時期。「母はこう思うから言っている」など自分の考えを乗せてあげて声かけ。子を大切に思っていることを伝える。放っておいて欲しそうな時は放っておく。

【参加者の声】 (※回収した感想より抜粋)

・本日はありがとうございました。「継続する事が一番大事！」科学や時代が変化しても、この根本は変わらないと思いました。それを子供たちに伝えるのが親の大事な役目と感じました。

・確かに一番大切な事は、「考える力」を想像したり、失敗の先にある良い事など考える力を持ってないと何をするにもやる気も出てこないなど改めて思えました。やはり人間の基本、早寝早起き朝ごはんを大事にします。「WHYからHOW」心がけたい！

・「間違う」と言うことに対して恥ずかしいと感じていて、なかなか自分の気持ちを言えない我が子が心配でした。先生の話聞いて10才頃に「こころ」は育つ。とあったので少しずつ少しずつ成長していくものなのだと分かりました。

・自分が育った環境では、テストの点数が悪いとか社会の目とかを親が気にしていたのか「いい子でいなければ、、、」的な育ち方でしたが自分が親という立場になってテストの点数では判断しないし、やりたい事はやらせてあげたいと思ってのびのび育てたいと思っています。いつも明るく笑顔でいてくれるので、その笑顔に救われるし私が失敗しても逆にドンマイ！！って言うってくれるのでそういう気持ちで周りの友達にも接していつてくれることを望んでいます。

・自分の反省と子供の失敗を認めてあげられるよう私のための話だと感じました。自信を持って成長出来るような言葉かけをしていきたい。

・失敗を避ける為に心配したり先回りして守り入るような姿勢ではなく失敗をマイナスに親が取らずにいれば肩の力も抜けて子供との経験を前向きに捉えて子育てを楽しむ余裕が持てそうです。

・人と違う個性を生かして失敗しても安心感を与えて一緒に考えて過ごしていきたいと思いました。

・これからの社会で必要とされる力と小学校で身に付ける力が違う点に危機感を感じました。子供が自分で考えて多様性を認め合える学びをすぐにでも始めて欲しいと思いました。また、家庭で出来ることも分かりやすく教えていただけ良かったです。

・話の内容が面白くて引き込まれました。今の自分の子育ての反省点も多く刺激になりました。「失敗を恐れない力」が今の我が子に一番足りない部分であることに気が付きました。

・世の中が大きく変わっていく中で求められる人材も変わり、それに伴い教育も変わっているという流れがよく分かりました。必要とされる力を育てるには家庭で生活のリズムを整えたり自己肯定感を育てることが大切と分かりました。良いところ、成長したところを見つけて本人に伝えていこうと思います。失敗力の育て方については具体的にどうすればいいか分からなかったのですが（あえて失敗させるかどうか。どのように失敗させるのか。）中曽根先生の本を読んでみようと思います。今日は子供の事を考える良いきっかけになりました。

・子供にとって親の言葉が大切だという事を再認識しました。質問ワークで自分が「どうして！！」と言われた時と「どうしたら？」と言われた時の受け止め方の違いを実感できて良かったです。早寝・早起き・朝ご飯、分かっているけど乱れがちになるので気を引き締めて守りたいと思いました。

・理解して実行しているつもりでも改めてお話を伺って、自己肯定感やほめる、認める事の大事さを実感しました。「どうしたら？」の声かけは実践したいと思います。私の経験してきた教育とは全く違う環境にいる子供の立場を理解出来たように思います。

・本日はありがとうございました。療育にも通じるような心の育て方について大変参考になるお話を頂けて今後の声かけに生かしていこうと思いました。アドラー心理学と重複するところもあり、再確認出来る事もありました。

・これからの大学入試の事や求められる資質が良く分かりました。子供との関係で気をつけなくちゃ、、、と思いながら出来ていなかったこと、これから出来ること、やっていけなくてはいけなさに再認識させられました。私自身、失敗や目立つことが怖い人だけど、子供には失敗は良いことだよ！失敗してからが大切だよ。と伝えていけたらいいなと思いました。ありがとうございました。

たくさんの感想ありがとうございました！みなさまの子育てのヒントになれば光栄です。

★中曽根先生からのコメント（抜粋）です★

「アンケートを拝見して、みなさまがそれぞれに受け止めていただけたことを大変嬉しく思っております。みなさまによろしくお伝えください。」

【次回学級のご案内】

開催日時：2/8(土) 13:30~15:00

テーマは、健康運動教室です。親子で参加できます。

アクロバティックパフォーマンスグループBLUE TOKYOを講師に、体育館で行います。

ぜひご参加下さい。